

姉妹都市ラピッド市に中学生・高校生が訪問しました

くわしくは 観光交流課 ☎21-5196

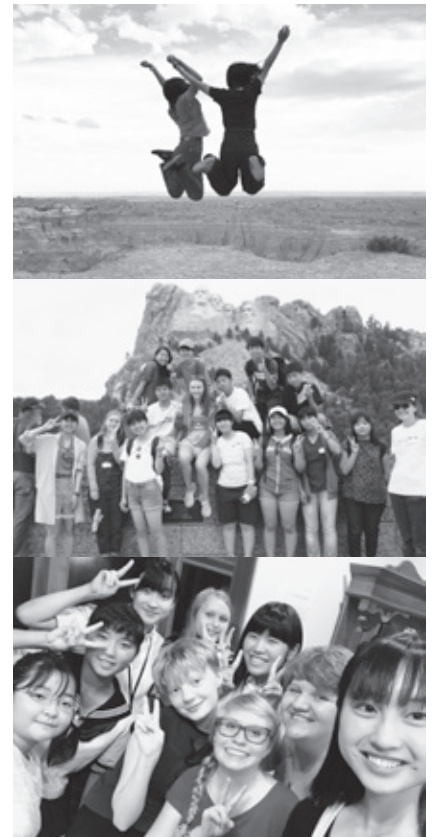
ラピッド市はアメリカ合衆国サウスダコタ州の西部に位置する、人口約6万人の都市です。毎年約300万人が訪れる観光都市で、アメリカの4人の大統領の彫刻でおなじみの「マウントラシュモア国立記念公園」があることで有名な都市です。また、自然を生かした農業や林業、鉱業も盛んな都市です。

旧今市市で平成6年に姉妹都市の提携をして以来、市は市国際交流協会と共同で、ラピッド市とさまざまな交流を行っています。

★アメリカでの経験を経て、大きく成長

7月23日(月)日光市の中学生2名、高校生10名がラピッド市へ出発。8月3日(金)までの12日間、ラピッド市議会への表敬訪問をはじめ、マウントラシュモア国立記念公園、クレージーホース記念碑、バッドランズ国立公園などさまざまな場所を訪れました。また、地元の生徒たちに人気のキャンディーショップや、ゲームセンターなども案内してもらいました。

滞在中はホームステイを通じて、日本との生活文化の違いを体感しながら、ホストファミリーと交流を深め、充実した日々を過ごしました。最初は英語で話すことをためらう様子も見られましたが、帰国前には積極的に英語で質問する姿も見られるようになり、成長を感じることができました。



派遣生徒の感想文

海外派遣から学んだこと

豊岡中学校3年 加藤光晟 かとうみつせい

僕は12日間を通して、3つの事を学ぶことができました。

1つ目はコミュニケーションの取り方です。ホストファミリーとの会話では、これまで学んだ英語でコミュニケーションを図りましたが、うまく伝わりませんでした。その時、一緒にホームステイした先輩がジェスチャーや表情で言いたいことを伝えてくれるのを見て、僕には非言語的コミュニケーションが不足していると気付きました。そこで僕も、分かる単語に加え、表情やジェスチャーを使ってみると見事に伝わり、コミュニケーションを取る事ができました。正確な言葉が分からなくても、気持ちを表に出すことで伝わる。大切なのは、互いに理解し、伝えようとする気持ちだと学びました。

2つ目はアメリカの広大な大地や大自然の魅力です。アメリカは日本と比べ、面積や人口が大きく違います。移動中に見る草原や活動で訪れたバッドランズ国立公園は、地平線の向こう

まで広がっていて、スケールの大きさに圧倒されました。

3つ目は生活の違いです。日本では左手で食器を持って食べることに対して、アメリカでは利き手のみを使って皿を持たずに食べていました。また、ピザ1切れのサイズが日本より一回り大きかったり、肉が座布団1枚くらいの大きさで売られているたり、アメリカの文化が感じられました。

これらの学びは、視野を大きく広げ、不安だったコミュニケーションの取り方に自信がついて、とても貴重な財産となりました。そして、この海外派遣事業を通して外国と日本の文化の違いをさまざまな面から学んだことを忘れず、国際理解や異文化に対する理解をより深められるよう努めていこうと思います。



地元テレビの取材を受ける加藤君

ホストファミリーを募集しています 毎年7月中旬から約10日間、ラピッド市の学生が日光市に滞在します。その際、家族の一員としてラピッド市の学生を受け入れてくれる家庭を随時募集しています。日光市にいながら、国際交流できるチャンスです。楽しい夏の思い出をつくりませんか？



アメリカバイソン

睡眠中の赤ちゃんの死を減らしましょう

11月は「乳幼児突然死症候群(SIDS)」の対策強化月間です

くわしくは 子育て支援課 ☎(21)5186

睡眠中に赤ちゃんが死亡する原因には、窒息などによる事故の他、乳幼児突然死症候群(SIDS)という病気があります。

SIDSの予防方法は確立していませんが、3つのポイントを守ることで発症率が低くなるというデータがあります。

1 1歳になるまでは、寝かせる時はあおむけに寝かせましょう

SIDSは、うつぶせ、あおむけのどちらでも発症しますが、寝かせる時にうつぶせに寝かせたときの方が、SIDSの発症率が高いということが研究者の調査から分かっています。

医学上の理由でうつぶせ寝を勧められている場合以外は、赤ちゃんの顔が見えるあおむけに寝かせましょう。この取り組みは、睡眠中の窒息事故を防ぐ上でも有効です。

2 できるだけ母乳で育てましょう

母乳育児が赤ちゃんにとっていろいろな点で良いことはよく知られて



います。母乳で育てられている赤ちゃんの方が、SIDSの発症率が低いということが研究者の調査から分かっています。できるだけ母乳育児にトライしましょう。

3 たばこをやめましょう

たばこはSIDS発症の大きな危険因子です。妊娠中の喫煙はおなかの赤ちゃんの体重が増えにくくなり、呼吸中枢にも明らかに悪影響を及ぼします。妊婦自身の喫煙はもちろんのこと、妊婦や赤ちゃんのそばでの喫煙はやめましょう。これは、身近な人の理解も大切です。日頃から喫煙者に協力を求めましょう。

11月9日(金)~15日(木)

秋の全国火災予防運動を実施します



くわしくは 消防本部予防課 ☎21-0368

秋の全国火災予防運動実施に伴い、9日(金)・12日(月)・15日(木)の午前7時・正午・午後5時に火災予防啓発のため防災用屋外スピーカーから音声放送を行います(戸別受信機からの放送は放送日の午前7時のみ)。ご協力をお願いします。

火災予防のために日頃からできることを行いましょう。家の中や外に物をため込み過ぎると、たばこなどの小さな火種でも火が着き、燃え広がりやすくなる上、放火されやすい環境を作ることになります。ご注意ください。また火災の早期発見に有効な住宅用火災警報器の設置と維持管理をお願いします。



~今一度確認しましょう~

①火気の適正使用を!

カセットボンベ・カセットコンロなど正しい火器の使用を心掛けてください。また、たばこの不始末も火災原因の一つとなっています。火気の手扱いに十分注意してください。

②電気火災の防止を!

コンセントがしっかり差し込まれていない場合や、ほこりがたまっている状態、コードの上に物が置かれている状態でも火災の一因となります。日頃から点検・清掃をしましょう。

③地域ぐるみで防火を!

日頃から近所で声を掛け合い、防火を地域で徹底しましょう。

秋の全国火災予防運動 防火ポスター展



日光地域の小学校4年生を対象とした防火ポスターを展示します。ぜひご覧ください。

とき…11月9日(金)~15日(木)

会場…日光郷土センター1階

展示スペース

問合せ…日光消防署 ☎54-0050